

地方独立行政法人神戸市民病院機構中期目標骨子（案）の市民意見募集結果について

(1)意見の募集期間 平成20年5月1日(木)～5月30日(金)

(2)資料の閲覧

閲覧日時 平成20年5月1日(木)～5月30日(金)

閲覧場所 神戸市保健福祉局病院改革推進室(市役所1号館6階)

医療センター中央市民病院(2階玄関横)、西市民病院(1階玄関横)

神戸市のホームページ

(3)市民意見の募集結果 13通、30件（無記名3通、6件 除く）

(内訳) 再掲4件含む

中期目標の期間	0件
市民に提供するサービス及び質の向上について	18件
1 市民病院としての役割の発揮	7件
2 専門性の高い医療の充実	3件
3 市民・患者と共に支える地域医療	7件
4 地域の医療機関との連携協力の推進	1件
業務運営の改善及び効果について	4件
1 すべての職員がプロとして活躍し、やりがいを持てる病院	4件
財務内容の改善について	4件
1 資金収支の改善	4件
その他業務運営について	5件
・ その他(独法に関する事)	3件

中期目標骨子(案)・市民意見一覧【要約】

分類	内容
市民に提供するサービス及び質の向上について	
1 市民病院としての役割の発揮	<p>(1) 救急医療</p> <p>中央市民病院では、他の民間病院では出来ない高度な医療や救急医療の最後の砦としての役割をこれからも果たして頂きたい</p> <p>新しい中央市民病院でもこれまでどおり救急医療や高度医療などを充実させてほしい</p> <p>小児科をはじめ、いろいろな科の救急の充実もお願いする</p> <p>新しい中央市民病院でも、小児科や産婦人科などの救急をさらに充実させるとともに、ほかの民間病院ではできないような高度な医療の充実もお願いする</p> <p>小児科医不足が深刻で大変不安。民間病院が救急を減らすと、受け皿は中央市民病院のような公立病院が頼みとなる。中央市民病院には独法化しても引き続き救急救命センターとして、救急医療の充実に努めていただきたい</p> <p>(2) 小児・周産期医療</p> <p>新聞などでは、小児科や産婦人科の医師が不足していると出ている。市民病院機構になってからも、小児科や産婦人科に力をいれてほしい</p> <p>(3) 感染症医療</p> <p>テレビ番組で、鳥インフルエンザやSARSなど新型感染症が人にも感染しうること、しかもそれらが急速に広がる恐れがあるとの報告をおこなっていた。私たちの不安を払拭していただけるよう、感染症医療対策の充実をぜひお願いする</p>
2 専門性の高い医療の充実	<p>(3) 高度・先進医療</p> <p>再掲 中央市民病院では、他の民間病院では出来ない高度な医療や救急医療の最後の砦としての役割をこれからも果たして頂きたい</p> <p>再掲 新しい中央市民病院でもこれまでどおり救急医療や高度医療などを充実させてほしい</p> <p>再掲 新しい中央市民病院でも、小児科や産婦人科などの救急をさらに充実させるとともに、ほかの民間病院ではできないような高度な医療の充実もお願いする</p>
3 市民・患者と共に支える地域医療	<p>(1) 市民・患者サービスの一層の向上</p> <p>外来で5時間弱座りっ放しで、ひたすら電光掲示板の番号を見て溜息をついていたのが辛かった。新患や紹介者は、先生の(指名)診療日以外に行く様にするとか、毎日別部屋で初診の診察をするように変更してほしい</p> <p>中期目標には色々な事が書かれているが、これらが実現すると本当に素晴らしい病院になると思う。事情がどう変わろうとも、この素晴らしい計画が途中で計画倒れにならないよう、全て実現できるようにお願いします。特に市民や患者へのサービスの一層の努力向上をお願いします</p> <p>相部屋の病室もゆったりしたスペースがあり、見舞い客が病人と一緒に食事やお茶を飲んだりできる団欒室のような部屋を設けてほしい</p> <p>病院からは神戸の財産である海が見えるので、それとあいまって、屋上とか周りに、いつも緑の木々や季節の花が咲いているような散歩道があると、病気や怪我で落ち込んでいる患者や家族、見舞い客の気分がましになるのでは</p> <p>治療を受けるなら気持ちよく受けたいので、中期目標に書いてあるサービスの一層の向上を實踐して、これまで以上に患者に優しく親切な病院になってほしい</p> <p>庶民が入院するのに、狭くてもいいから、低額の個室をできるだけ多くつくってほしい。個室でない心が休まらない</p> <p>(2) 市民・患者への適切な情報提供</p> <p>産婦人科や小児科の医師がやめていなくなることや訴訟や救急のコンビニ受診など世の中が変わっている。市民病院がずっと今のままで存続できるように、市民は自分自身で考えて医者にかかる必要がある。医師がいなくなれば困るのは市民。病院もそのことをもっとアピールすべき</p>

4 地域医療機関との連携協力の推進	
(1) 地域医療機関・保健・福祉の連携推進	4疾病への対応など県の保健医療計画への絡みで項目設定はされているが具体策は不明。既に地元医療機関との間で、それぞれ独自の連携を培って来つつある状況の下で、行政が近未来に向けてどのような医療連携を考えているのか気懸り
業務運営の改善及び効果について	
1 すべての職員がプロとして活躍し、やりがいを持てる病院	
(4) 優れた医療職の確保	
再掲	産婦人科や小児科の医師がやめていなくなることや訴訟や救急のコンビニ受診など世の中が変わっている。市民病院がずっと今のままで存続できるように、市民は自分自身で考えて医師にかかる必要がある。医師がいなくなれば困るのは市民。病院もそのことをもっとアピールすべき
(5) 職員満足度の向上(医療職の負担軽減)	
	医師や看護師達がとても忙しそうで、いつももう少し何とかならないものかと思っている。病院で働く方々が少しでも働きやすくなるような職場にしてあげてほしい
	「すべての職員がプロとして活躍し、やりがいを持てる病院」を目指すために「職員満足度の向上」が上げられているが、実態に即したしっかりした対応をのぞみたい。また、「成果給」のマイナス面に直結すれば現場での職員のやる気が削がれる
	最近、医師を始め、過酷な勤務状態が問題になり、また、患者の身勝手や暴力にやりがいを失い、辞めていく例があると聞く。市民病院は神戸市になくてはならない病院。医師が辞めていって市民病院がなくならないように、ぜひ、やりがいを持てる病院という目標を達成してほしい
財務内容の改善について	
1 資金収支の改善	
(1) 安定した経営基盤の確立	
	病院の経営破たんや未収金が多いということも新聞記事で見かける。患者が減れば当然収入も減る。こうした事が少しでもなくなるように、病院も努力するとともに、赤字を減らすことも考えてほしい
	市民病院を、単に「先端医療センター」の機能維持のため、それも築後30年を経ずに新築移転させる矛盾点を少しでも払拭させようとする意図は感じられない
	市民病院が市民の命と健康を守るために民間ではできない不採算部門を受け持つ以上、赤字は名誉ある赤字として受け入れるべきだ
(3) 費用の合理化	
	経営の効率化というところに重点が置かれると思うが、経費を削るだけでなく、お金をかけるべきところはかけ、二重三重になるような検査漬け・これでもかと薬を出すような事をなくしてほしい
その他業務運営について	
1 PFI手法による中央市民病院の再整備	
	PFI手法について、30年間も一社寡占状態で市民の健康を預かる市民病院の運営を(本体部分を除いたとしても)委ねることを懸念する
	他都市のPFI方式の例では企業に払う運営費用が圧縮できずに赤字が拡大するものもある。運営に当たる企業の利益確保が優先されるこのシステムは公的病院の収支改善に役立たない
	市民のための市民病院の役割を犠牲にして「医療産業都市構想への寄与」を優先する中央市民病院のPFI方式によるボーアイ 期への移転など、神戸市は市民に犠牲を押し付けている
2 医療産業都市構想への寄与	
	「臨床に応用される段階になった医療について」安全性と倫理性への十分な配慮のないままに「いちはやく市民に提供していく」ことを市民は望まない。PI 期の地域に再生医療を担う研究拠点や臓器移植専門病院など、あらゆる病院機能を一ヶ所に集約させ、その中心に市民医療、標準医療を担う市民病院を据えるスキームが、市民の目線に適った「次世代医療連携システム」なのか
	市民病院の本来の役割は、「救急時の万全の対応」や「質の高い第三次医療」を含む「後方専門総合病院」として、安全性と有用性が確立した「総合的な高度(先進)医療」を行うこと。「先端的」「治験的」「研究的」な医療を中央市民病院の中心的役割とするのは、市民病院の本来の役割を歪めるもの

その他

(独法に関すること)

何故、一般独立行政法人なのか。大阪府立病院では特定地方独法化を採用。府立病院で独法化後1年での黒字には、理事会の決定だけで変更可能な保険対象外の患者負担分の引き上げなどがある。加えて目標管理に上げられる「病床利用率や手術件数の増加」が現場の医師、看護師、メディカルの過重労働になる

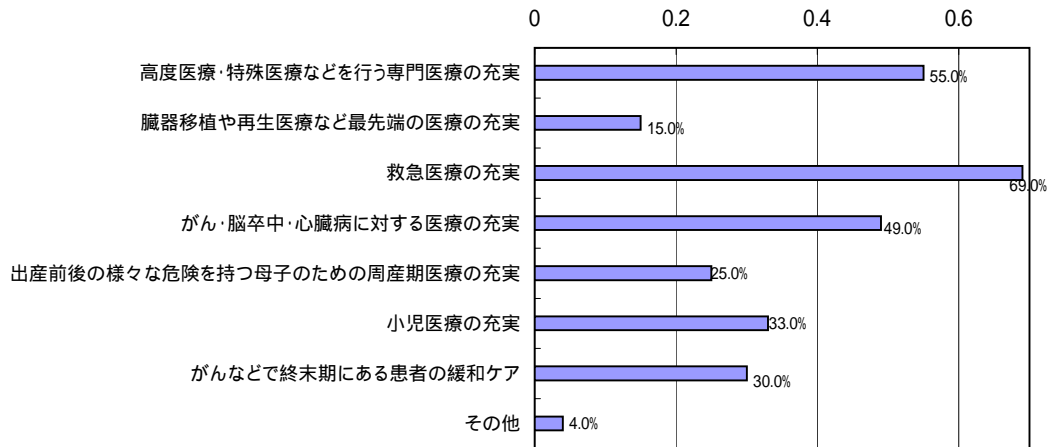
独法に移行することにより機動性、柔軟性、透明性を高め、効率的な運営を行っていくとのこと、大いに期待している

病床削減や平均在院日数短縮方針の下、市民病院の機能の後退が指摘されている。中央市民病院のポートアイランド 期への移転や病床数削減が、一層拍車をかけることを懸念。採算確保を最優先させる独立行政法人化が行われれば、市民病院の機能を何重にも低下させる

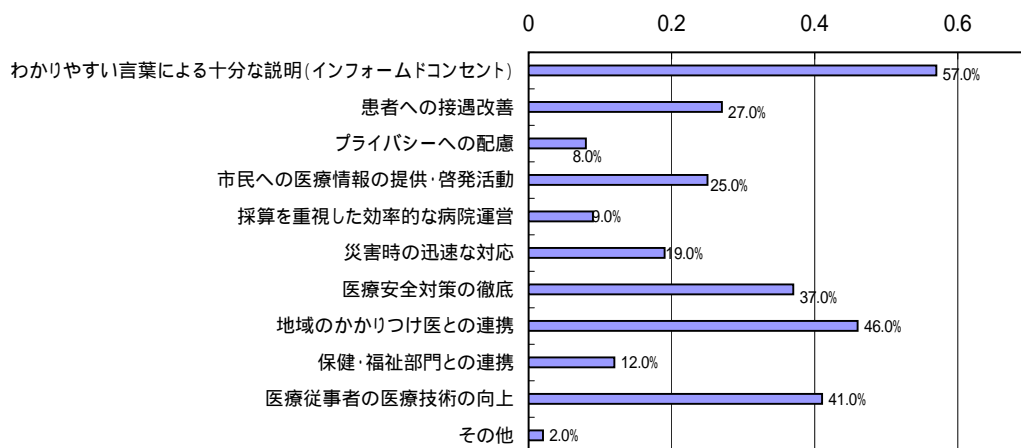
(参考) 過去にいただいた市民病院に対する市民・患者の意見

1 市政アドバイザー調査(平成19年8月16日～9月3日 回収数578件)

(1) これからの市民病院に望むもの(医療機能)

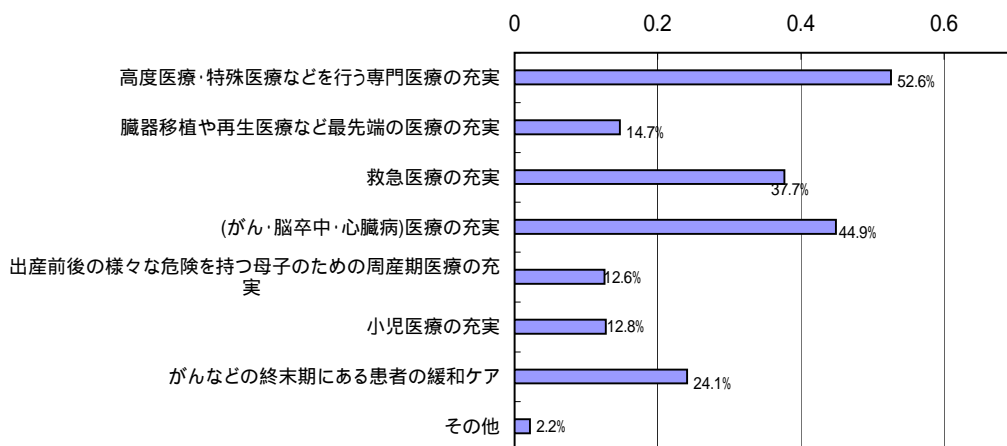


(2) これからの市民病院に望むもの(医療機能以外)

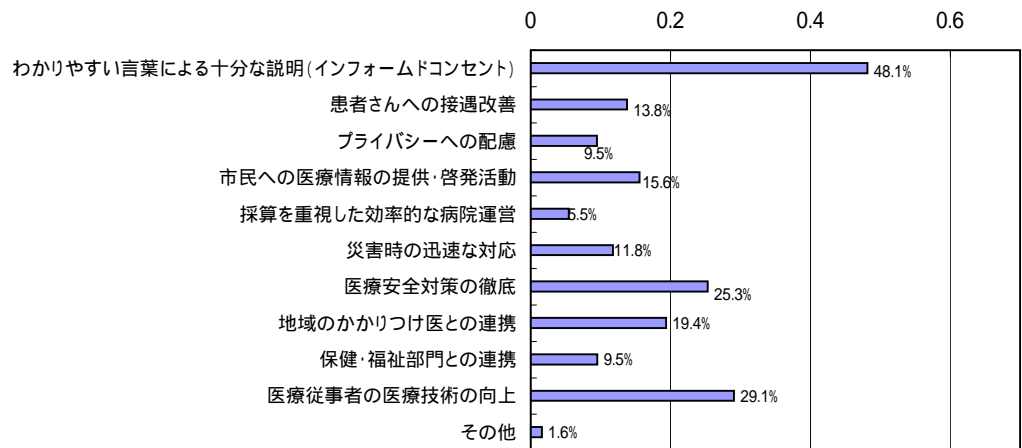


2 患者満足度調査(中央:平成19年10月22日～26日、西:平成20年1月15、16日)

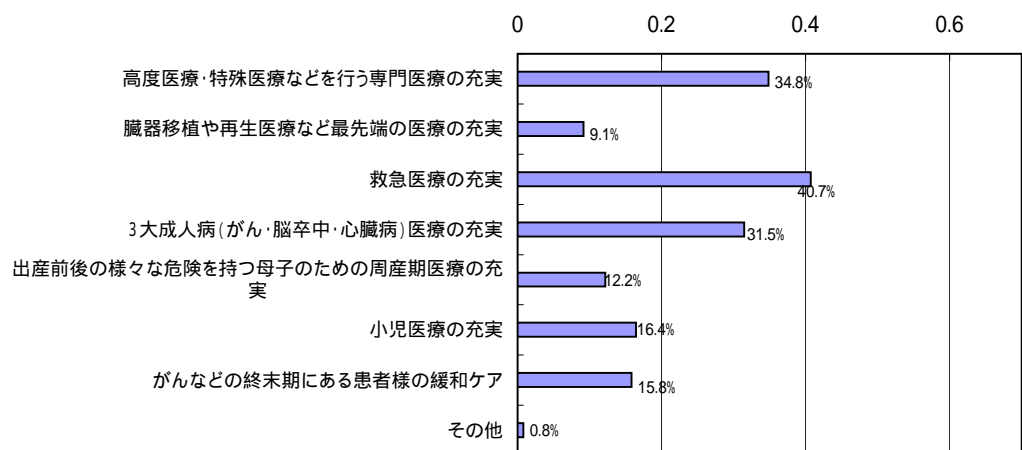
(1) これからの中央市民病院に望むことは?(医療機能)



(2) これからの中央市民病院に望むことは？ (医療機能以外)



(3) これからの西市民病院に望むことは？ (医療機能)



(4) これからの西市民病院に望むことは？ (医療機能以外)

